山弓連

平22.2

2.7.11

関東高校弓道大会

甲州軍団の若武者大活躍

男子団体二位(鶴)三位(桃山)
萱沼(桂)が個人優勝
技能優秀表彰二チームと四人

六月二日、三日の両日にわたって開催された関東高校弓道大会で、本県高校勢が大活躍をしてその名誉を全関東にひろめた。

まず男子団体戦では、山梨園芸と桃山工が、関東の強豪校を次々と撃破して勝って準決勝に勝ち上り、若しや山梨同士の決勝戦では？との期待をもたせた。しかし園芸は、宇都宮南を10対8で破って決勝戦に進んだが、桃山は、地元厚木東と対戦して9対9の同中となり、競射又対3で惜しくも敗れ夢は破れた。決勝戦での園芸高も大健闘したが地の利を得た厚木に9対8で波をのみ準優勝となった。個人戦では桂高の萱沼が8射皆中、射詰競射でも連続的中して次々と他県選手をせり落とし、みごとに個人優勝の栄冠をかちとった。

更にみごとだったのは、技能優秀表彰の部で団体四チームのうち二チームと、個人次者のうち四名を出来が獲得したこと。りっぱ!!成績は次の通り。

男子団体二位　山梨園芸高
〃　〃　三位　桃山工業高
〃　個人一位　萱沼勉(桂高)
技能優秀団体　男子　巨摩高
〃　〃　〃　女子　巨摩高
〃　〃　〃　個人男子　長谷川秀樹(巨摩高)
〃　〃　〃　〃　女子　岩井美恵子(巨摩高)
〃　〃　〃　〃　井上良史(〃)

全日本勤労者弓道選手権大会

	男子	女子
一位	中込 実(甲府)	小澤弘美(甲府)
二位	深沢 勇(甲府)	中川美鈴(甲府)
三位	深沢豊(甲府)	鈴木智恵(東八)
以下	他に6中が五人	他に4中が三人

残念なのは婦人が男2/名に対し女子名と少なかったこと。遠的練習場の少ないのが原因？

六月九日、金沢市で開催、山梨代表として松下電器甲府コニシ・ザ・ニシ場チームと松下電器甲府技術本部チームが参加した。コニシ・ザ・ニシチームは予選を10中で通過したが、二次予選もの中でまりで決勝進出は成らなかった。特機チームは女子二人を含む異色チームで注目されたが、意外に的中率がよわく、予選2中で敗退した。兄弟チームご苦労さまでした。

来年は予選に五チームの参加を望みたい。

遠的選手権大会

◆中込が皆中で優勝◆

県下遠的選手権大会が五月三十七日、緑が丘弓道場で開催され、男子の部と女子の部の二種別で選手権を競った。その結果、団体総合経験者がやはり強く上位を独占した。成績次通り。

	男子	女子
一位	中込 実(甲府)	小澤弘美(甲府)
二位	深沢 勇(甲府)	中川美鈴(甲府)
三位	深沢豊(甲府)	鈴木智恵(東八)
以下	他に6中が五人	他に4中が三人

連載　山弓連の歴史を創った人々

峡南の先達の人〜保坂寿太郎氏

明治維新後、大正末期から昭和初期にかけて、峡南地方の弓道を始めてもとに戻すに近くなる。主として斉藤的、遠見頼治に師事したが、父事作翁の影響も大きかった。

峡南の雄として数々の大会に出場して立派な成績を残しているが、特に昭和十六年第二回明治神宮大会(現在の国体)では、県代表として準決勝まで勝ち進んだ戦績は、峡南地方の弓道者及、振興にも尽力し、数々の弓士を育て上げた。今もなれらの後輩たちが峡南弓界を支えて活躍しているが、現山弓連中沢会長もその中の一人。

それから、保坂美文氏(錬五)、保坂恭光氏(五段)は寿太郎氏の御子息で、兼作翁からかわって氏続く弓道一家でもあるわけ。

明治38年生まれのいつまでも今も力強くヤングとして弓を引く。

念願であった「京都三十三間堂で弓を引く」ことを果たしたことは前号で紹介し通り。念願を果たしてますます意気軒昂。発奮ますます頑張っている。いつまでもご精進ご自愛を切に祈る。

春季審査会

五月十三日審査審査、五月二十日に級位審査を実施し、次の通り合格者が生まれた。おめでとう。

◎査定審査

受審者112.

級	受審者	合格者
二級	14	57
一級	39	1
初段	1	1
二段		
三段		

◎級位審査

級位	受審者	合格者
初段	199	107
二段	84	56
三段	47	17
四段	22	12

審査会場で拾い声…

○講習会での勉強が役に立ったと思う。合格できてよかった(合格者)

○審査会は緊張する。日ごろの練習では簡単にパスしているのに、ここではなかなかあたらない。難しい。(受審者)

○体配の練習度が、高校間にかなりの格差がある。(落審者)

○高校生で三段が九人、秋には もっとふえるだろう。俺たちの時代にゃ二級迄で留めれた。今昔の感。(ベテラン)

○申しみメ切り日を守ってもらわないと事務処理がたいへん。是非厳守を望む。(事務局)

○審査事務局から再々度の注意〜「二級又は二級に合格しても、登録料を納めないと合格が有効になりません」と主張しもれは駄目です。必ず登録料を納めて登録手続きを完了するようにして下さい。」

全日本選手権大会代表選考会
関東選抜選手権大会

七月八日、才三次選考船会を開催。一次候補23名の中から、的中数と射型採点の総合点により、下表の通り代表を決定した。

「全日本」は九月三日〜三十四日、伊勢市で「関東選抜」は九月二日、前橋市で開かれる。代表の健闘活躍を祈る。

		男子	女子
全日本	代表	中沢利正	秋山照美
	補欠	土屋 皎	標 衣枝

		男子	女子
関東選抜	代表	河西伊三男	永井芳太郎
		佐野辰巳	深沢 勇
		深沢武重	和田一雄
		西塩泰弘	雨宮 哲
	補欠	不動田 光熙	中川美鈴

弓連よりの注意事項(競技会に際しての)

最近各種競技会で散見されている次のような事は、一部競技規則に禁止されており、指導者や審判委員は、弓道の本質、徳目が損なわないよう、秋章維持に努めて下さい。

イ、射手が射位で大声を出したり、応援者が素直な拍手でなく組織的な手拍子や「ヨオーシ!!」などの発声で、他の射手に心理的な妨害となるような、過度な応援。

ロ、審判委員や進行係以外の者が射手に接近する行為。

なお、四つ矢の捌き方についての乱れがありますので、礼についても、成本を遵守して下さい。

お知らせ

◆八月五日の伝達講習会の会場を「勝沼弓道場」に変更します。県学ち道場ではありませんので、まちがえないようにお願いします。

◆いよいよ猛暑の季節。暑さに負けずご精進下さい。九月三日は県体育祭です。県下の精鋭大集合。楽しみにしています。

日弓連から上記のような通達がありましたのでお知らせします。各競技会でも注意して下さい。